エルサルバドル政治経済月報 (2023 年 11 月分)

2023 年 12 月 在エルサルバドル大使館

内政

- 1. 最高選挙管理委員会 (TSE) によるブケレ大統領の次期大統領選への候補者登録 (主要各紙)
- 11月3日、最高選挙管理委員会(TSE)は、賛成4票と棄権1票(オリボ委員)でブケレ大統領を次期大統領選の候補者として登録した。ブケレ大統領は自身の「X」公式アカウントにて、「法に則り登録された、反対票は一つもなかった、神は我々と共にいる」と発信し、ウジョア副大統領も同様に自身の「X」公式アカウントにて、「法に則り登録された、ブケレ大統領、我々は歴史を作り続け、国民に安全、平和と福祉を提供すべく、国を変革し続ける用意ができている」と発信した。
- 2. 専門家育成機構 (INSAFORP) 及び青年庁 (INJUVE) の廃止案の可決 (ディアリオ・エルサルバドル紙 (政府系) 除く主要各紙)
- (1) 11 月 14 日、当国国会は、教育研修機構法案 (Ley de Instituto Nacional de Capacitación y Formación) を可決した。同法案可決により、専門家育成機構 (INSAFOR) が廃止となり、教育研修機構 (INCAF) が新たに設立される。
- (2) また、同日に国会は、犯罪地域コントロール計画「フェーズ 6」国家統合システム法案 (Ley del Sistema Nacional de Integración Fase VI del Plan Control Territorial) を可決した。同法案可決により、青年庁 (INJUVE) が廃止となり、統合庁 (Dirección Integral) が新たに設立される。
- 3. 2024 年エルサルバドル大統領選挙 (CID Gallup 社による世論調査結果 (ディアリオ・エルサルバドル紙)
- 11月17日、世論調査会社 CID Gallup 代表のハウグ氏は、当地主要討論番組「Frente a Frente」に出演し、2024年エルサルバドル大統領選挙における各大統領候補の世論調査(実施期間:11月6日~13日、回答者数:1,200人、回答方式:携帯電話、調査結果の誤差:2.8%)の結果を発表した。
 - (1) 大統領選挙が今日実施される場合、どの候補者に投票するか。
 - ア ブケレ候補 (現職) (新思想党 (NI)): 79%
 - イ サンチェス候補(国民共和同盟(ARENA)):3%
 - ウ フローレス候補 (ファラブンド・マルティ民族解放戦線 (FMLN)):2%
 - エ その他:2%
 - オ 無回答/分からない:14%
 - (2)各大統領候補に対する支持率
 - ア ブケレ候補 (現職) (NI)
 - 支持:91%不支持:7%

 - ・候補者を知らない/無回答:2% イ パラダ候補(Nuestro Tiempo党)
 - 支持:17%不支持:18%
 - ・候補者を知らない/無回答:65%

ウ サンチェス候補 (ARENA)

支持:15%不支持:16%

・候補者を知らない/無回答:69%

エ フローレス候補(FMLN)

支持:15%不支持:16%

・候補者を知らない/無回答:69%

オ レンデーロス候補(Fuerza Solidaria 党)

支持:14%不支持:72%

・候補者を知らない/無回答:73%

(2) どの政党を支持/所属しているか。

ア NI: 42% イ ARENA: 2% ウ FMLN: 2%

エ 国民のための大連合: GANA: 1%

オ その他:1%

カ 支持政党なし/無回答:52%

4. ブケレ大統領による大統領職の休職と次期大統領選挙に向けた選挙活動(主要各紙)

11月28日夜、ブケレ大統領は国営放送「カナル10」を通し、当国国会に2024年大統領選挙の選挙活動に従事するための休職願(licencia)を申請する意向である旨発表した。また同放送中、ブケレ大統領は、デルガド検察庁(FGR)長官に対して、汚職のない政権を目指すためにも、全閣僚の身辺調査を行うよう要請した。

5. ブケレ大統領による緊急医療システムオペレーションセンター他の発表(主要各紙)

11 月 29 日夜、ブケレ大統領は国民向け全国放送で緊急医療システム(SEM)のオペレーションセンターおよびタサヘラ島緊急診療所の建設を発表。SEM はサンサルバドル市内中心地に位置するヘリポートを備えたエルサルバドル全土をカバーする施設。また、ラ・パス県サンルイス・ラ・エラドゥラ市のタサヘラ島に建設された緊急診療所には水上救急車や医療ヘリコプターが配備されており、24 時間緊急医療システムにアクセス可能になっているほか、ワクチンや医療品を適切に保存できるコールドチェーン設備も有している旨紹介された。

6. エルサルバドル暫定大統領の選出(主要各紙)

11月30日、当国国会は、クラウディア・フアナ・ロドリゲス・デ・ゲバラ氏をエルサルバドル暫定大統領(designada presidencial)に選出した。これは、ブケレ現大統領が2024年大統領選挙に再選するための要件である、大統領就任日の6か月前に大統領職を離れる場合、現職の大統領が次期大統領選挙へ出馬することが可能となる。なお、同選出に伴うロドリゲス・デ・ゲバラ氏の宣誓式は行われなかった。

外交

1. ミラ外務副大臣の韓国訪問(外務省プレスリリース)

(1) 11 月 7 日、ミラ外務副大臣が韓国を訪問し、国際ワクチン研究所(IVI)のビーカースタッフ理事長との間で、エルサルバドルの IVI 加盟に係る書簡の交換を行った他、チャン韓国外交部第一次官と会談した旨のプレスリリースを発出した。

- (2) 11 月 8 日、訪韓中のミラ外務副大臣は、ハン・ドクス韓国国務総理と会談、第 3 回 SICA・韓国特別円卓会議の出席、及びエルサルバドルが韓国ソウル市に本部を置くグローバル・グリーン成長研究所(GGGI)に加盟した旨のプレスリリースを発出した。
- (3) 11月9日、訪韓中のミラ外務副大臣は、韓国・中米通商投資フォーラム及びソウル・コーヒーショー2023の開催式に出席した旨のプレスリリースを発出した。

2. アルゼンチン大統領選挙に対する祝意(外務省プレスリリース)

11月19日、エルサルバドル政府は、外務省プレスリリースを通じて、ミレイ・アルゼンチン次期大統領に対する祝意とともに、同国との二国間関係を深め続ける意思がある旨表明した。

3. アフリカ諸国及びインド国籍者に対する空港施設整備費の支払義務付けに係るアンリケル CEPA 総裁の発言(ラ・プレンサ・グラフィカ紙)

11月27日、アンリケル・エルサルバドル港湾空港運営委員会 (CEPA) 総裁は、当地主要討論番組「Frente a Frente」に出演し、本年10月23日から56のアフリカ諸国及びインド国籍者に対し、エルサルバドル国際空港をトランジットで利用する際には、空港施設整備費を支払うことを義務付けた点に関し、同措置は「運営上の問題」である旨明らかにした。同総裁は、エルサルバドル国際空港内において、アフリカ諸国及びインド国籍者に対して注意を支払う必要があり、彼らは我々の言葉を理解せず、ターミナルで4日から5日滞在し、空港の化粧室で入浴している点に触れ、同措置はそれらサービスの対価である旨述べつつ、エルサルバドルに来るなと言っているのではないという点を表明した。

4. エルサルバドル国立図書館(BINAES)の開館イベントの実施(主要各紙)

11 月 14 日、サンサルバドル市内歴史的地区にてエルサルバドル国立図書館 (BINAES: Biblioteca Nacional de El Salvador)の完成・開館イベントが実施され、ブケレ大統領や Zhang Yanhui 当地中国大使らが出席。本図書館は 2019 年にブケレ大統領が訪中した際に中国の習国家主席から取り付けた 5,400 万ドルの無償資金供与によって設立されたもの。

5. ブケレ大統領と Zhang 当地中国大使による国立競技場定礎式の実施(ディアリオ・エルサルバドル紙)

11月30日、ブケレ大統領は国民向け全国放送を通じて、Zhang 当地中国大使と行った国立競技場定礎式の様子を全国に公開した。ブケレ大統領が2019年に訪中した際に習主席から取り付けた案件のひとつである本競技場の建設には1億ドル以上の資金が投入され、完成までに36ヶ月かかる見込み。収容人数は最大5万2千人で、中米最大規模となる。

経済

1. S&P 社による格付評価の格上げ(主要各紙)

11 月 7 日、米格付大手の S&P 社は、当国の長期信用格付を「CCC+」から「B-」に格上げした旨発表した。また同社は、長期信用格付の見通しを「安定的」とした。なお、現在のところ、中南米で「B-」の格付けに該当する国はエルサルバドル以外に、エクアドルとベネズエラになる。

- 2. アナログ放送の終了予定日と地デジ放送の開始予定日の発表(ラ・プレンサ・グラフィカ紙) エルサルバドル電気通信監督庁(SIGET)は、当国のアナログ放送終了日を 2024 年 10 月 1 日、 地デジ放送の開始日を同年 4 月 1 日に予定しているとした。
- 3. CAF による遠隔医療プログラムの借款に係る動き(ディアリオ・エルサルバドル紙及びエル・ムンド紙)

11月27日、アンリケル・エルサルバドル港湾空港運営委員会(CEPA)総裁は、当地主要討論番

組「Frente a Frente」に出演し、イロパンゴ空港の新ターミナルが本年 12 月に完成する予定である旨述べた。